

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	サンプアート
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
FAX 番号	03-4212-9676
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-4212-9655
SDS 作成日	2009 年 07 月 29 日
改訂日	2025 年 03 月 28 日 (05 版)

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート（SDS）をご参照ください。なお、次頁以降の SDS 中の製品名や登録番号等が弊社の商品と異なる場合がございますが、弊社の商品名等は本頁の記載の通りとなります。当商品に関するお問い合わせは次頁以降の連絡先ではなく、本頁に記載の連絡先までお願いいたします。

この頁と次頁以降を分離して使用しないでください。分離して使用された場合、当商品の状況を示す SDS とは異なるものとなり、分離した SDS に従い当商品が使用されたことに起因して事故、不具合が生じても、弊社はその損害につき責任を負いかねます。

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

中毒 110 番 365 日 24 時間対応

一般市民専用電話（情報料無料）

（大 阪） 072-727-2499 （つくば） 029-852-9999

医療機関専用有料電話（1 件 2000 円）

（大 阪） 072-726-9923 （つくば） 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

作成日：1992年12月1日

改定日：2024年12月26日

安全データシート(SDS)

JIS Z 7253:2019

1. 化学品及び会社情報

製品名： Daiwa BLD-40

供給者の会社名称： ダイワ化成株式会社

住所： 〒338-0011 さいたま市中央区新中里 5-7-1

担当部門： 品質保証部

電話番号： 048-832-3121

FAX番号： 048-831-9171

推奨用途： 工業用(着色料)

整理番号： 9206IM

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性： 分類できない

健康有害性： 分類できない

環境有害性： 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル： なし

注意喚起語： なし

危険有害性情報： 該当しない

注意書き： 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物	
青色1号	40%
イオン交換水	60%

【 青色1号 】

化学名又は一般名： Brilliant Blue FCF, disodium salt

慣用名又は別名： C.I. Food Blue 2

官報公示整理番号 化審法： 5-1732

安衛法： 公表

CAS No. : 3844-45-9

PRTR法： 該当しない

労働安全衛生法の通知物質(改正対応後)： なし

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合： 汚染した衣類を脱ぎ、多量の水でよく洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、眼科医の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄すること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、水噴霧、砂類。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時の特有の危険有害性： 燃焼あるいは高温により一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物などの
有害ガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法： 風上より消火剤を使用して行い、風下の人は避難させる。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は呼吸保護具、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置:

作業の際には適切な保護具を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
製品が河川に流入して環境に影響を起こすことのないように注意する。
拭き取る、真空中で吸い取るなど飛散しないようにして空容器に回収する。
回収した容器は密栓すること。

環境に対する注意事項:
封じ込め及び浄化の方法・機材:
二次災害の防止策:

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざける。
局所排気装置を設置し、換気のよい所で取り扱う。
吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
情報なし
取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。

安全取扱い注意事項:

接触回避:

衛生対策:

保管

安全な保管条件:

安全な容器包装材料:

密封の上、室温暗所で保管する。
ポリエチレン等

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度:

日本産業衛生学会(2014年度版):

設備対策:

保護具

呼吸用保護具:

手の保護具:

眼、顔面の保護具:

皮膚及び身体の保護具:

設定なし
収載なし
取扱い場所には給排気設備を設ける。

適切な呼吸器用保護具を着用する。
不浸透性の保護手袋を着用する。
取り扱いには保護メガネを着用する。
保護衣、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:

色:

臭い:

融点／凝固点:

沸点又は初留点及び沸点範囲:

可燃性:

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界:

引火点:

自然発火点:

分解温度:

pH:

動粘性率:

溶解度:

n-オクタノール／水分配係数:

蒸気圧:

密度及び／又は相対密度:

相対ガス密度:

粒子特性:

燃焼持続性:

液体
暗青色
なし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
5.0～7.0 (1%水溶液)
データなし
水に可溶
データなし
データなし
1.14～1.16 (20℃)
データなし
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:

化学的安定性:

危険有害反応可能性:

避けるべき条件:

データなし
室温で安定
データなし
高温、加熱、直射日光

混触危険物質：
危険有害な分解生成物：

データなし
焼却した際、有害ガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物など）が発生する場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性：	情報なし
皮膚腐食性／刺激性：	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	情報なし
生殖細胞変異原性：	情報なし
発がん性：	情報なし
生殖毒性：	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	情報なし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	情報なし
誤えん有害性：	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壤中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	情報なし

13. 廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。スクラバーなどの除害装置が設置されている焼却炉で注意しながら少量ずつ焼却処分する。又は都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際して容器に破れや漏れのない事を確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止策を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法等に定められている運搬方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運搬方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運搬方法に従う。

15. 適用法令

該当しない

16. その他の情報

引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (nite) 化学物質管理分野
厚生労働省 化学物質 GHSモデルラベル・SDS情報

記載内容の取扱い

このSDSは現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。また、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。